對乃至全對ガ互 ズ、葉形並

相會シ會點ハ更ニ連結セラ

n

`

= ŀ

ア 'n

(斯

ブ如

本邦

二產

ス

ıν

Æ Æ

ノヲ

次ノ如クニ分

心臟形乃至圓

形

=

テ缺

三其分裂ノ狀

ハ種々アリテー定セズ、

誅 雜 穿 研物植 第 其屬徴ト分類法ノーットヲ述ベヨ 凡千三百、其分布モ世界的デアル 【屬徵】

7 |清さ水(長嶺折堂) |を稱スル jv 供。 著テハ惡イ此畫ノ通リデハ餘リ要領ヲ得ナイはりもみノ樣ニ見 カラ此印度ノ畫ニ在ッテ最モ宜シイト思フ學術名ヲアカリフへ、ヒスピダト云ヒ又アカリフへ、 下方 **樅狀ノ樹ハ落葉松敷然レバ其葉ヲー** = 描 ケ ル赤色美麗 1 紐 無 花 穂ヲ有スル 層細線狀ニ描ク必要ガアル又松毬 植 物 工 テ面白クナイ 72 かとうだい科 (完 種 デ印度 Æ アノ様 サン 、土産品

〇羊齒類ノ一大群をしだ屬

__ 兒 玉 親

輔

=

下向

デ タル

理

をしだ屬トハをした、べにしだ等ヲ含ムモノデ今日デハ普通 樺太ヨリ臺灣ニ至ルマデ普ク之レヲ産シ約九十種程 Dryopteris ト呼バレラ居ル一大屬 エモアル、 デアッテ種類 左

ナシ脈背ニアッテ葉縁ト中肋トノ中間ニ位スルヲ普通トス包膜ヲ有スル者ト之レヲ缺ケル者トアリ包膜 をした屬いのさしのぶ科(Polypodiaceae)中ノをした族(Aspidiene)ニ屬シ嚢堆い圓形、橢圓形或い

ゥ

本邦ニハ

刻アリ缺刻ノ基部ヲ以テ囊堆床上ニ 著生ス、 根莖へ直立或へ横

葉脈ハ全ク游離スルカ或 ハ隣レ ルル脈群

走シ

葉柄

ト關節

セ

線形

腎臟

ガキ脈ヲ Nervatio Goniopteridis ノ相對向セル最下ノー ト云フ)

嚢堆ニ包膜ヲ有スル (I)をしだ區 [Sect. ٠ Eudryopteris]

脈ハ全ク游離ス(圖中ノ1)をしだ)

羊齒類ノ一大群をしだ慝

羊歯類ノ一大群をしだ屬

ほしだ區 [Sect. II. Cyclosorus] 脈ハ結合シ Nervatio Goniopteridis ヲナス(圖中ノ2、ほしだ

二嚢堆ニ包膜ヲ缺クモ,

、葉脈全ク游離セルモノ

みやまわらび區 [Sect. III. Phegopteris』コレヲ特立ノ一屬トナセル人モアリ

(イみやまわらび亞區 ロみぞしだ亞區 〔β. Leptogramma〕嚢堆ハ線形ナリ(圖中ノ4、みぞしだ) [a. Euphegopteris] 嚢堆ハ圓形ナリ(圖中ノ3、みぞしだもどさ)

②葉脈連結スルモ へかうもりしだ亞區〔γ. Meniscium〕囊堆へ脈ノ連結セル所ニアリコレヨリ脈上ニ沿フ ラ稍 長形

此他ニ脈ハほしだ區 ナリ(圖中ノ5、かうもりしだ) ノ如クニシテ嚢堆裸出セ

上述ノ分類法ハ主トシテ葉脈、 ノ方法ハアルケレドモ何レモ要點ヲ脈、嚢堆ニ取ッタモノデ不自然ナルヲ発レナイ然ルニ 嚢堆ノ形狀、包膜ノ有無ニョレルモノデ決シテ自然的ノモ ノデハナイ從來幾多 C. Christensen 氏

しだ區ノ如キ嚢堆ヲ有スルモノ [Stegnogramma] アリ共ニ本邦ニ産セズ

ルモノ [Goniopteris]、又脈

ハ前者ノ如クニシテみぞ

氏ノ信ズル所デアル其方法ハ甞テ大正元年十月發行ノ植物學雜誌第二十六卷第三百十號ニ抄譯シテ置イタカラ pteris, Cyclosorus, Leptogramma, Goniopteris, Meniscium ノ十亞屬ニ分ッタ是レ最モ自然的ノ分類法デアルト同 ハ毛茸、鱗片ノ有無及ビ構造ヲ基トシテ Endryopteris, Stigmatopteris, Ctenitis, Lastrea, Glaphyropteris, Steiro-

行 發 月 九

Nephrodium ナル屬名ハー八二〇年ニ Richan 氏ガ建ラタモノデエングラー氏自然分科全書ニ於ラ 兹ニハ再錄ヲ省ク、兎ニ角をしだ屬ハのきのしぶ屬ト共ニ最モ尨大ナル一屬デアルカラ未ダ種々ノ問題ガ潜ン デ居ルコトデアロウ次ニ屬名ノ變遷ヲ述ベル DIELS 氏

デアル從來 Nephrodium ノ意味モ種々ニ用ヰラ

ノ屬徴デアルガ其名稱ハ最舊ノ者ヲ採用シタ譯

レテ居ッテー前述ノをしだ屬ノ性質全部ヲ具フ

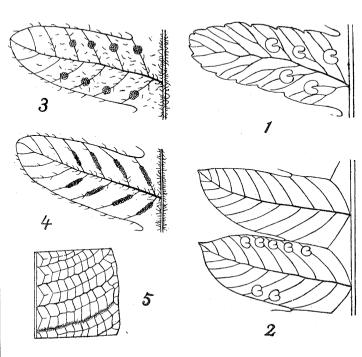
一HOOKER, BAKER 兩氏ノ如ク包膜ヲ有

ナルヲ以テ Nephrodium ノ屬徵ハ即チ Dryopteris

リハ遙カニ古イ而シテ此レニ屬スベキ諸羊齒

Diels 氏ノ用ヰタル Nephrodium 中ノモ





(原圖)

(194)ス n , Æ

九 六 年 Œ タノダガ其頃ハ羊歯ハ僅カ十五屬(Equisetum, Onoclea, Ophioglossum, Osmunda, Acrostichum, Pteris, Blechnum, 林娜氏時代ニナレバ Polypodium Filix mas ト呼バレタモノデアル林娜氏ハー七五三年ニPolypodium 屬ヲ建テ 羊齒ヲ報告シタモノハ廣義ノ Aspidium ヲ用ヰタガ今日デハ殆ド此式ハ採ラナイコトニナッタ、尚以前ニ溯リ Dryopteris ト順ヲ追フテ變遷シテ居ルコトガ見ラレル、Francher, Savatier, Miquel, Christ 等諸氏ガ日本ノ 博士ノ日本植物名彙、 SWARTZ 入ルベキモ 等諸氏ノ制限セル意味ノ不規則網狀脈ヲ具へ楯形包膜ヲ有スル狹義ノ Aspidium ト後ノ Nephrodium, Lastreaニ ラレタ故ニをしだヲ一例ニ取レバ Nephrodium Eilix mas トモ モノ、三通リガアル、 ノノミヲ含ムモノ、又三極メテ狹キ意味ニ限ラレ 氏ガー八○一年ニ建ラタ Aspidium ト云フ屬ハ創立當時ハ甚ダ廣イ意味デアッテ ノトヲ總テ包含シテ居ル無論今日デャ狹義ニ用ヰラレルノガ普通デアル試ニをしたノ學名ヲバ松村 帝國植物名鑑、並ニ改訂植物名彙ニョッテ引イラ見ルト其屬名ガ Aspidium, Nephrodium, 此三ノ場合ノ狹義ノモノニ對立シテ脈 ø jν Æ ノニ Lastrea Filix mas トモ呼バレタコトガアリ又 ノ游離セルモノハ Lastrea ナル特立ノ屬ガ設 テ包膜ヲ有シ 脈ガ游離 セ DIELS, CHRISTENSEN jν Æ 3 ヲ

氏モ同ジ意味ニ用ヰテ居ル然ルニ Hill 氏ハ Family Herbal (1755)ニ於テ Male Fern 及ビ Female Fern ニ Filix ハDryopteris 屬ノ提唱者 ADANSON 氏ハ Cystopteris ニ對スル林娜氏以後ノ最古ノ名稱デアルトシ又 LuDwid Filicum テ之レラ用ヰタ、元來 Family Herbal ハ薬用植物書デアルト同時ニ純正植物學~方面ニ於テモ亦權威アルモノ 日更ニ故キヲ温ネテをしだ屬ニ 八〇六年ニ Swarrz 氏ガ Synopsis Filicum ヲ書イタ時ハ三十八屬ドナリー九〇六年ノ Christensen 氏ノ Index デハ百四十九屬ニ増加シテ 居ル是レハ 新羊齒 Filix ナル名稱ヲ與フルコトガ至當デアルト論ズル人ガアル今其說ヲ述ブレバ ノ發見ト研究ノ精密ニナッタトニ歸因スルノデアル、

時代デアッテ圓形ノ嚢堆ヲ有スルモノハ何レモ Polypodium トシ今日ノへご科ノモノマデモ入ッテ居ッタ、 Hemionitis, Lonchitis, Asplenium, Polypodium, Adiantum, Trichoman s, Marsilia, Pilularia, Isoetes)シカトカッタ 植

古

名

古 是

v

ŀ

リタテ、云フ程ノ題

ビデハナ

才

ガ前

題 萬十

* 美シ

(四)つぼすみれ

都保須美禮

歌ニ詠ンダすみれい今云れんげさうデアル

クテハ今云すみれヲイカニ

セ

デアル

サレ

バ古ノすみれい尚今ノすみれニシテれんげさうニ

此

花 ッ

殊

クカ

۱۷۰

カリノ名花

ガ歌ニ漏レンャウャ

7 ノすみ

w

ŀ

7

云フ古名アリテ之レニフサ

ハ

キ歌

モタル墨斗ニ似れ

シタレ サ

レバトラ壺墨入又ハ墨入トノミハウラムルコトヤアル

云ヒ出ダセ 況シテャすみれ

リト

說

アリサ

、又つぼすみ

ハつ ノ説

ŋ

語 ŕ · 力

原

ハ此花

ジ形

ノサナガラエ

匠

ノモ シ ンヤ

Filix Foemina Dryopteris 以前ノモノナル故須ラク之レヲ採ッテ以テをしだ屬ノ屬名トスベキダト 云フノデナク二名法ニョリテ呼ンダモノト思ハレル然ラバ當然 Filix ガ屬名デア 該書ニ於テハ Male Fern ヲ Filix Mas (Filix ハ Fern 必要ナ シ テ 其 ル説明ト或物ニアッテハ圖解 ヺ (Filix 公同上、Foemina 尊重 ス べ キ 書 ピデア w 而 サヘモ シ ハ Female 即チ雌ノ意)トシテアル是レ テ屬 x ハ Fern 即チ羊齒 Maループアル故其ノ命名ハ ŀ シ テ ノ記 載 7 才 ケ Mas (Male ν 權威アル ŀ, モ 植 物 æ り單二植 、ッテ而 即チ雄ノ ノト看做サナ 羅 云フノデアル然シ未ダ Ţ 物 カ 意) Female モをしだ属 ヲ羅丁名デ呼ンダ 何 ヶ 物 ナ ニー對ス ナ Fern 力 ラ ヲ

ナ 知

1

w

ヲ

w ŀ

物 古 名 考 (承前

ハ用ヰラレテ居ナイ

(すみれ科)

シテ玆 すみれ 三揭 ブ jν =

ŀ

`

シタ、

香川景樹

ń

1

郎

 \mathcal{T} 'n 卷ニハ左 數首 ラ歌 ガア

茅花拔く淺茅が原のつぼすみれ今盛りなり吾戀らくは 一吹の の咲きた たる 野邊 のつぼすみれ 此 春 雨 に盛 りなりけり